

# 鳥取県智頭町



智頭ノ森ノ学ビ舎

## 人を活かす 山を創る

智頭ノ森ノ学ビ舎はこれからの林業の関わり方を提案する団体です  
あたらしく始める人も、そうでない人も 地元の人も、ヨソモノも、伝統も、革新も  
どちらがいいとか、わるいとかでなく、うまく組み合わせて、バランスよく  
多くの人にとって、山のある暮らしの楽しみ方を学ばせてくれる場所でもありますように

智頭ノ森ノ学ビ舎は2015年9月に鳥取県智頭町において地元の若手林業家と町外からの移住者を中心に結成されました。  
現在、智頭町の町有林約57ヘクタールをフィールドに、森林施業や定期的な講習会の実施、半林半X（新たな副業）の模索等、新たな林業家の育成と智頭林業の伝統継承に励んでいます。

	発足時(2015/9)	現在(2022/9/1)
会員数	8名	51名
内 林業家	4名	22名
作業道オペレーター	2名	12名
特殊伐採技師	0名	8名

### (2)小規模(自伐)林家の保護及び育成事業

林業家育成の為の研修会の開催及び智頭町と協働で小規模林家の補助制度を整備（資格取得補助、新規就業補助、防護服購入補助等）

#### 研修実績

2015年度	16日間	延204名参加	【伐倒・集材・作業道】
2016年度	14日間	延137名参加	【伐倒・造集材・作業道・経営相談】
2017年度	10日間	延196名参加	【伐倒・造集材・作業道】
2018年度	17日間	延170名参加	【安全講習・作業道・視察研修等】
2019年度	14日間	延143名参加	【作業道・アーボリスト育成】
2020年度	3日間	延17名参加	【アーボリスト育成】
			※コロナ禍により研修規模縮小
2021年度	8日間	延76名参加	【伐倒・アーボリスト育成】

2015年～21年 7年間 82日間 延943名参加  
※2022年度は架線集材研修を開催



## 主な事業

### (1)森林施業

智頭町から研修フィールドとして町有林57haを貸与  
現在「いつでも、誰でも、真剣に」林業を学べる環境を整備

作業道敷設



間伐



枝打ち



オウレン採種



杉皮剥き



木材搬出



市場出荷



ミツマタ



ヒサカキ収穫



ニホンモモンガ

